

透明な紙で、あなたなら 何を作りますか？

ゲスト：能木 雅也（大阪大学産業科学研究所助教）

2011.12.16 (金)

18:30～20:00 アートエリア B1 開場 18:00

開催場所はこちらです。開場は 18:00 です。



京阪電中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース
(地下鉄「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分)

会場に関するお問い合わせ：アートエリア B1
TEL.06-6226-4006 (12:00~19:00) ※月曜休 (祝日の場合は翌日)

※車いすでお越しの場合は、あらかじめアートエリア B1 まで
ご連絡いただきますようお願いいたします。

参加費：無料 (定員は約 40 名、事前の参加申込は不要です)

主催：アートエリア B1【大阪大学+NPO 法人ダンスボックス+京阪電気鉄道(株)】

共催：大阪大学 学術研究機構会議、大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室・支援事務室、大阪大学 21 世紀懐徳堂

企画制作：大阪大学 大型教育研究プロジェクト支援室・支援事務室、大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター (CSCD)、NPO 法人ダンスボックス

協力：NPO recip[地域文化に関する情報とプロジェクト]



ゲスト：能木 雅也さん
大阪大学産業科学研究所助教

**透明な紙で、あなたなら
何を作りますか？**

紀元前 2000 年頃にエジプトでパピルスが
発明され、西暦 200 年頃に中国で紙が作
られるようになりました。そして 2008 年、
日本で紙が「透明」に。今回のサイエ

スカフェでは、透明な紙の作り方を、その発明者本人を招いてわか
りやすく解説してもらいます。透明な紙の新しい用途をどう展開す
るか、来場された皆さんと意見交換を行いたいと考えています。

<能木さんの略歴> 名古屋大学生命農学研究科博士課程(後期課程)修了。博士(農学)。
産業技術総合研究所基礎素材研究部門非常勤研究員、京都大学国際融合創造センター産学
官連携研究員、日本学術振興会特別研究員 PD(京都大学生存圏研究所)を経て 2009 年よ
り現職。

今回のサイエンスカフェは、「最先端・次世
代研究開発支援プログラム」で採択された研
究課題のアウトリーチ活動として、実施する
ものです。

最先端・次世代研究開発支援プログラムとは、将来、世界の科学・
技術をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者に
対する研究支援制度です。国の「新成長戦略(基本方針)」(2009
年 12 月 30 日閣議決定)において掲げられた先端的な研究開発を支援
することにより、中長期的な国の科学・技術の発展を図り、国の持
続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することが目的です。

採 択 者：能木 雅也

研究課題：「プリント技術によるバイオナノファイバーを用いた低環境負荷・
低温エレクトロニクス製造技術の開発」



ファシリテーター (科学を伝えるひと)

高木 昭彦

● 大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任准教授



大阪大学学術研究機構会議とは

大阪大学学術研究機構会議とは、大阪大学のさまざまな研究分野の
附置研究所および研究センターの集合体です。大阪大学学術研究機
構会議では、これらの研究所・センターが持つ共通の問題点を議論
し、それを大学の運営に反映させています。また、研究所・センター
が世界の研究ネットワークのハブとして新たな「知」を創造するこ
と、大阪大学らしい研究を集約・発展させること、高度な研究を通
じた若手研究者養成を推進することなどを支援しています。

大阪大学の研究所・センターの中には、全国の研究者コミュニティ
のニーズに応える「共同利用・共同研究拠点」としての機能を持
つものや、大阪大学が推進する最先端研究の中心的な役割を担う
ものまで、多様で多彩な組織があります。大阪大学学術研究機構
会議は、これらの多様で多彩な目的をもつ研究所・センターの活
動についてもバックアップしています。

ラボカフェ に関するお問い合わせ：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) TEL.06-6850-6632 cscd@office.osaka-u.ac.jp

研究ときめきカフェ に関するお問い合わせ：大阪大学 学術研究機構会議 TEL.06-6879-8594 (大阪大学蛋白質研究所庶務係)

tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp